

12月号

高社

やしろと
かなえゆめ



小泉小学校だより

令和6年11月29日

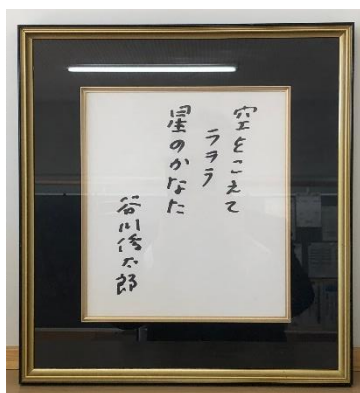
(No.9)

谷川俊太郎さん、宝物のような言葉・詩の数々をありがとうございました！

11月13日に、詩人の谷川俊太郎さんが92歳で亡くなった、というニュースが流れました。小学校国語の教科書（1年～3年、5、6年）には、同じく詩人のまどみちおさんに並び、9つの作品が掲載されています。私も教員になって三十数年、国語を専門としておりますので、谷川俊太郎さんの詩を何度も授業しました。味わい深い宝物のような言葉、言葉遊びの面白さを子どもたちと共有したいと思い、授業をしていました。そして、かつての教え子に、谷川俊太郎の名前をそのままとて名付けられた、俊太郎という子がいたなということも思い出しました。…死は誰にでもいつか必ずやってくる、とは分かっていても、とてもさみしく、残念な気持ちになりました。

かつば 谷川俊太郎
かつば かつばらった
かつばら かつばらった
とてち かつばらった
かつば かつばらった
かつば かつばらった
『ことばあそびうた』

ですが、28日付の朝日新聞デジタルの記事に、俊太郎さんの長男で音楽家の谷川賢作さんの「父に悲嘆という言葉は似合わない。（宮沢賢治の言葉を引いて）『かがやく宇宙の微塵（みじん）』になったのではないか、そんな気がしている。みなさんにもそう思ってほしい」というコメントを見ました。そういえば、デビュー作のタイトルは『二十億光年の孤独』。宇宙と一体になった、遥かなる存在になったということでしょう。



宇宙といえば、『鉄腕アトム』の主題歌の作詞も谷川俊太郎さんでした。

『空をこえて ラララ 星のかなた ゆくぞ アトム
ジェットのかぎり 心やさしい ラララ 科学の十
万馬力だ 鉄腕アトム』

この色紙は、ひまわり3担任の細江先生が持っていらっしゃいました。谷川俊太郎さんと4回ほどお会いしたことがあるそうです。その時、お願いして歌の冒頭部分を書いてもらったとのことでした。

最後に、私が中学生を受け持っていた時、子どもたちとよく歌っていた合唱曲「春に」（のもとになった詩）を紹介します。ぜひ聞いていただけたらと思います。

春に

谷川俊太郎

この気もちはなんだろう
目に見えないエネルギーの流れが
大地からあしのうらを伝わって
ぼくの腹へ胸へそうしてのどへ
声にならないさけびとなってこみあげる
この気もちはなんだろう
枝の先のふくらんだ新芽が心をつつく
よろこびだ しかしかしみでもある
いらだちだ しかもやすらぎがある
あこがれだ そそいかりがかくれている
心のダムにせきとめられ
よどみ渦まきせめぎあい
いまあふれようとする
この気もちはなんだろう
あの空の青に手をひたしたい
まだ会ったことのないすべての人と
会ってみたい話してみたい
あしたとあさってが一度にくるといい
ぼくはもどかしい
地平線のかなたへと歩きつづけた
そのくせこの草の上でじっとしていた
大声でだれかを呼びたい
そのくせひとりで黙っていた
この気もちはなんだろう

日	曜	12月行事予定	下校時刻	日	曜	1月行事予定	下校時刻
1	日		／	1	水	元日	／
2	月	■学校司書来校 記名の日(上靴) ○運動遊びCP(～12/6) (6年)一日校外学習(博物館明治村) たじっ子チャレンジ重点期間②(～12/8)	①②14:10 ③～⑤15:00 ⑥15:15	2	木	学校閉校日	／
3	火	■ALT来校 (5年1・2組)一日校外学習①(ヤマザキマザック)	①～③14:40 ④～⑥15:30	3	金	学校閉校日	／
4	水	■ALT来校 ■学校司書来校 運動遊び(3・4年)	15:00	4	土		／
5	木	(5年3・4組)一日校外学習②(ヤマザキマザック) (3年)わら打ち体験 PTA本部役員会・役員選考会	①②14:40 ③～⑥15:30	5	日		／
6	金	■ALT来校 ■学校司書来校 (3年)縄綱い体験 (5年)第5・6時:地区別通学路調査 運動遊び(1・2年)	①14:10 ②～③15:00 ④～⑥15:50	6	月	冬季休業日終了	
7	土		／	7	火	【特別日課(冬休み明け集会)】4時間授業 (全校)第1時:冬休み明け集会 図書返却	14:00班別
8	日		／	8	水	■学校司書来校	15:00
9	月	■ALT来校 【特別日課(個人懇談会①)】4時間授業	14:00班別	9	木	■ALT来校 記名の日(筆箱の中身) (ひ、6年)身体測定 (1年)第1～4時:昔遊び (4年)第1～4時:高齢者体験① (5・6年)第6時:委員会(後期⑤) PTA本部役員会	①～④ 14:40 ⑤⑥ 15:30
10	火	■ALT来校 ■学校司書来校 【特別日課(個人懇談会②)】5時間授業	15:00班別	10	金	■ALT来校 ■学校司書来校 (5年)身体測定 (4年)第1～4時:高齢者体験②(3階多目)	①14:10 ②～③15:00 ④～⑥15:50
11	水	【特別日課(個人懇談会③)】4時間授業	14:00班別	11	土		／
12	木	■ALT来校 ■学校司書来校 (4年)小学校音楽祭 (6年)第3時:キャリア教育(オンライン) (3年)消防署見学(北消防署) 運動遊び(5・6年)	①②14:40 ③～⑥15:30	12	日		／
13	金	【特別日課(個人懇談会④)】4時間授業 (3年)消防署見学(北消防署)予備日	14:00班別	13	月	成人の日	／
14	土		／	14	火	■学校司書来校 ○給食週間(～1/17) (4年)身体測定 旧地区班会委員会	①～③14:40 ④～⑥15:30
15	日		／	15	水	(3年)身体測定	15:00
16	月	■ALT来校 ■学校司書来校 個人懇談会⑤ ○学び合い週間～12/20	①②14:10 ③～⑥15:00	16	木	■ALT来校 ■学校司書来校 【時間割変更 月曜日課掃除なし】 (2年)身体測定	①②14:40 ③～⑥15:30
17	火	(4～6年)第6時:クラブ (3年)第6時:クラブ見学 昼休み:小泉中生と交流①	①②14:40 ③～⑥15:30	17	金	■ALT来校 (1年)身体測定	①14:10 ②～③15:00 ④～⑥15:50
18	水	■学校司書来校 昼休み:音楽クラブ発表会 冬休み用図書貸し出し	15:00	18	土		／
19	木	■ALT来校 (6年)第1・2時:薬物乱用防止教室 冬休み用図書貸し出し 昼休み:小泉中生と交流②	①②14:40 ③～⑥15:30	19	日	親子高社登山	／
20	金	■学校司書来校 昼休み:小泉中生と交流③	①14:10 ②～③15:00 ④～⑥15:50	20	月	■ALT来校 ■学校司書来校 ◎図書祭(～2/2) 家族読書(～1/26)	①②14:10 ③～⑥15:00
21	土		／	21	火	■ALT来校	①～③14:40 ④～⑥15:30
22	日		／	22	水	■学校司書来校 ■ALT来校 にこにこあいさつ運動	15:00
23	月	※給食マイエプロン使用(～12/26)	①②14:10 ③～⑥15:00	23	木		①②14:40 ③～⑥15:30
24	火	■ALT来校 ■学校司書来校 (456年)第3時:スマホ・ケータイ安全教室	①～③14:40 ④～⑥15:30	24	金	■学校司書来校	①14:10 ②～③15:00 ④～⑥15:50
25	水		15:00	25	土		／
26	木	■ALT来校 ■学校司書来校 【特別日課(冬休み前集会)】4時間授業 (全校)第3時:冬休み前集会	14:00 班別	26	日	親子高社登山(予備日)	／
27	金	冬季休業日開始		27	月	■ALT来校 読み聞かせ(低)	①②14:10 ③～⑥15:00
28	土		／	28	火	■ALT来校 ■学校司書来校 【特別日課 5時間授業・掃除あり】 読み聞かせ(中)	15:00班別
29	日		／	29	水	■ALT来校 読み聞かせ(高・ひ) 昼休み:通学班長・副班長会	15:00
30	月	学校閉校日		30	木	■学校司書来校 第6時:委員会(後期⑥)	①～④14:40 ⑤⑥15:30
31	火	大晦日	／	31	金	【特別日課(市教研③)】4時間授業 1-4.4-1.6-2は、5時間目授業公開 小学校入学説明会(9:00-11:30)体育館	13:20 班別 1-4.4-1.6-2 は15:10

「できない」 そうではなくて 「にがて」なんだよ

親育ち4363たじみプラン事務局

例えば、「一定の時間、席に着いて話を聞く」など、「できてほしい何か」が十分にできていない状況の子に、できる方向へ歩んでほしいと願うとき、私たちは、その子に様々な声をかけます。いたわり、なぐさめ、叱咤、激励、指摘、叱責…。そういうとき、「どうしてできないの!」など、「できない」と断じてしまう言葉からは、相手への否定が伝わってしまいます。その子の成長への期待があったとしても、それは伝わりにくく、むしろ見放されたという断絶のメッセージすら伝わりがねません。

一方「にがてだね」という言葉には、どこか温もりがあります。その人の状況を理解し、共に考えようとする、共感と励ましのメッセージが伝わります。「君は『できない』んじゃないんだよ。そのことが、少し苦手なだけなんだよ」「そうか、ぼくは、『できないだめな子』じゃないんだ。ただ、苦手なだけなんだ。ドッチボールが苦手なように、ちゃんと座っていることが、苦手なだけなんだ。」

こういう感覚を、その子自身と、周囲の仲間や大人が共有できるとき、そこは誰にとっても優しい空間です。お互いが違うことへの理解や共感、異なる他者と折り合って生きる力、その子自身の自己肯定感が培われるのは、そういう場所ではないでしょうか。(教育推進課 家庭教育担当)